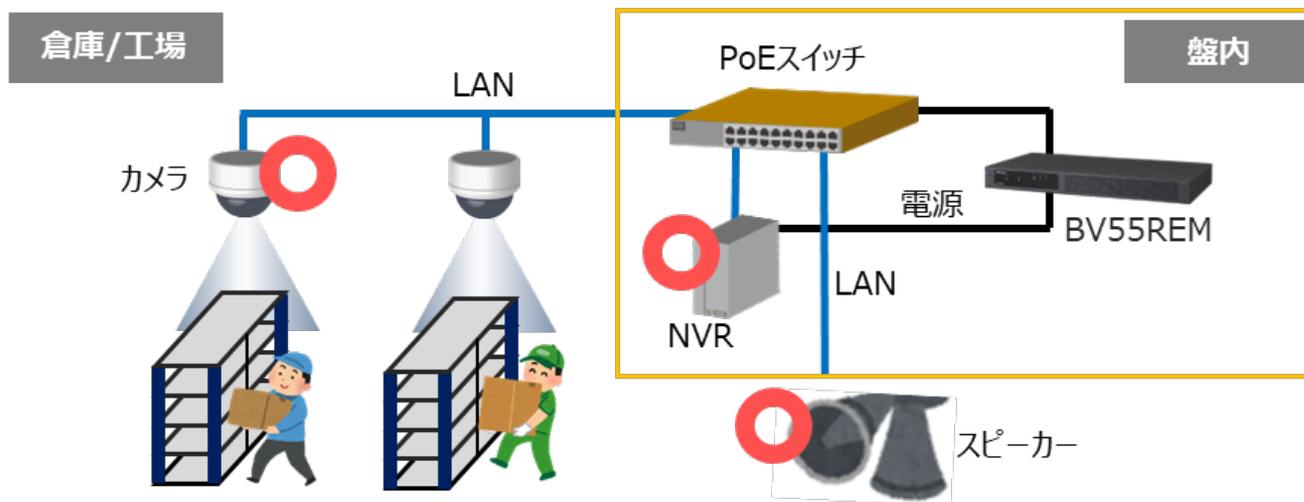


事例6：物流倉庫/工場の危険予測や災害時の罹災/安否確認のシステム稼働対策

目的

危険予測、災害発生時における倉庫/工場の状態確認及び罹災/安否確認に必要なシステムの継続稼働
 ①監視カメラやスピーカー ②NVRや分析AIユニット ③盤内収容や高所設置

構成



困りごと

- ・保安機器のフリーズや停電で避難誘導ができず、倉庫/工場の状態や、作業人員の安否ができず、現場の安全確保が維持できなくなる
- ・各機器がフリーズした際、リポート復旧作業のため現地まで行く必要があり、早期復旧ができない
- ・保全のため盤内設置の必要があるが、鉛UPSはサイズ大きく、重量もあり盤内に入らない

期待される改善

- ・停電時でも、倉庫/工場の状態及び安否状態が確認可能
- ・ネットワーク経由で遠隔監視と管理ができる
- ・フリーズした場合、自動死活監視 + 自動電源制御でのリポートが可能
復旧時間と作業工数を削減
- ・薄型軽量で、盤内に設置できる
- ・ラック/壁/天面/床固定など場所に応じて設置形態を選べる